

令和元年5月29日

教育記者クラブ 各位

岩手県立大学

安比高原の草原の再生のための農耕馬の放牧等について（お知らせ）

岩手県立大学は、日本中央競馬会の助成による「農耕馬のホースワーク可能性に関する実証事業」の一環として、下記のとおり放牧及びホーストレッキングを実施します。

この取組は、安比高原ふるさと倶楽部が主催する「馬と芝とレンゲツツジ祭（6/2～9）」とタイアップして行うものです。

つきましては、これを取材の上、報道くださいますようお願いいたします。

記

1 馬と芝とレンゲツツジ祭とのタイアップについて

- (1) 日時：放牧 …令和元年6月2日（日）10：00～12：00（神事後、一斉放牧を行います）
ホーストレッキング…令和元年6月2日（日）13：30～15：00
6月9日（日）10：00～12：00

※本実証事業のために農耕馬を全7頭借り上げていますが、イベント内で全頭登場しない場合があります。

- (2) 会場：安比高原 中のまきば ブナの駅周辺（別紙地図参照）

2 「農耕馬のホースワーク可能性に関する実証事業」概要

詳細は別添資料を参照してください。

- (1) 草原再生事業《今回》
(2) ホースワーク推進事業
ア ホーストレッキング等可能性調査事業《今回》
イ 馬耕等可能性調査事業
(3) 公共施設管理可能性調査事業

3 留意事項

- ・事前申し込みは不要
- ・少雨実施

【本件に関する問合せ先】 総合政策学部 教授 渋谷晃太郎 TEL:019-694-2746
E-mail: kshibuya@iwate-pu.ac.jp

安比高原の草原の再生のための農耕馬の放牧等について（お知らせ）

岩手県立大学では、日本中央競馬会の助成による「農耕馬のホースワーク可能性に関する実証事業」の一環として、安比高原の草原の再生・維持を目的に、農耕馬をお借りして、放牧及びホーストレッキングを下記の日程で実施します。

これらの取組は、地元で草原等景観の保全活動を実施している安比高原ふるさと倶楽部が主催する「馬と芝とレンゲツツジ祭（6/2～9）」ともタイアップしながら、実施していきます。

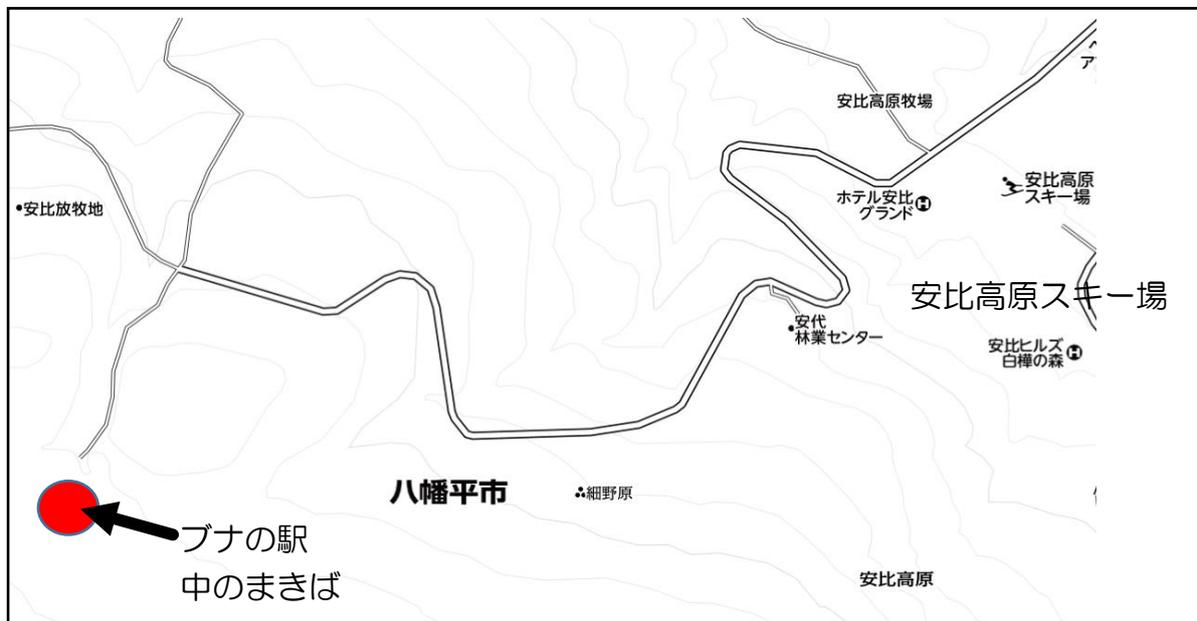
多くの皆様のご参加をお願いいたします。

記

日時：放牧 …令和元年6月2日（日） 10：00～12：00
 ホーストレッキング… 6月2日（日） 13：30～15：00
 6月9日（日） 10：00～12：00

場所：安比高原 中のまきば ブナの駅（地図参照）

事前申し込みは必要ありません。



連絡・問い合わせ先

岩手県立大学総合政策学部 渋谷晃太郎

滝沢市菓子 152-52 電話 019-694-2746 Mail : kshibuya@iwate-pu.ac.jp

《6月から行う事業の詳細》

(1) 草原再生事業

岩手県立大学では、農耕馬（全7頭）をお借りして、6月から10月までの5か月間に、安比高原の半自然草原の再生・維持を目的とした放牧を実施します。

放牧は本来、馬主が農耕馬の育成過程の一つとして放牧地の管理者に放牧料を支払って行うものですが、近年の安比高原では、草原の再生・維持を目的として農耕馬に草を食べさせるために放牧（これも農耕馬の仕事の一つであり、草原管理牧（仮称）という新たな生物多様性保全の試み）を行っています。

安比高原の事例は日本においてほとんど行われていない先進的な取組です。岩手県立大学では、これを実証事業として行います。

(2) ホースワーク推進事業（ホーストレッキング等可能性調査事業）

農耕馬の新たな仕事（ホースワーク）を増やすために、引馬によるトレッキング、馬車によるトレッキングなどを実証事業として行います。

ホーストレッキングは、「馬と芝とレンゲツツジ祭」のほか、初夏と秋にも実施する予定です。

補足・参考：安比高原の半自然草原について

安比高原は、岩手県北西部、八幡平の西側標高約900mに位置する高原で、ブナ二次林の中に3箇所の半自然草原が広がっています。この半自然草原は、花粉分析等によって、およそ1000年前から、現在まで草本植生が継続してきたことが判明しています。1985年頃に、牛馬の放牧が休止されて以降、森林化が急速に進み、1976年から2001年までの間で50%以上草原の面積が減少しています。

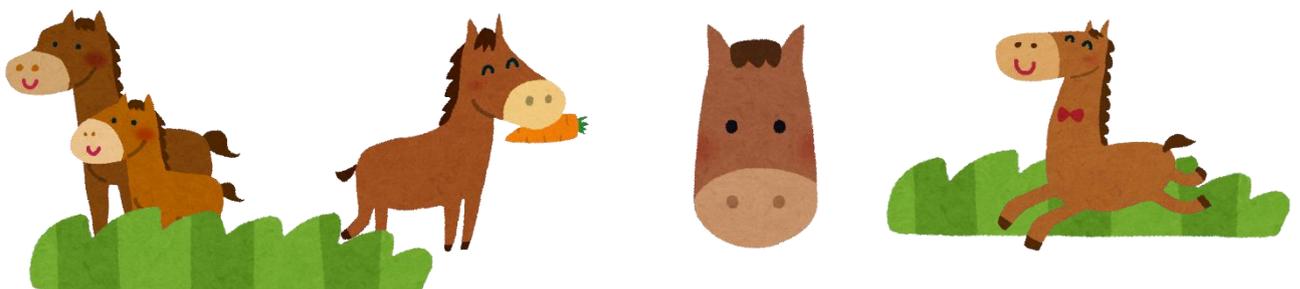
森林化が進み景観が変化しつつあることから半自然草原の再生が平成18年度から八幡平市、林野庁など行政機関により開始されました。チシマザサやズミの伐採、刈払いや野焼きが年3回程度行われてきましたが、平成24年からは民間団体「安比高原ふるさと倶楽部」が保全活動を精力的に実施してきました。しかしながら、森林化の進行が早く、人力による管理に限界があることから、平成26年度から、在来馬を放牧してシバ草原を再生。保全する試みが開始されました。

安比高原の半自然草原には、レンゲツツジをはじめ、スズラン、アズマギク、ヤナギラン、エゾオヤマリンドウなど多くの花を見ることができます。

半自然草原とは？

半自然草原とは、農業などの様々な人間の働きかけによって成立し、人間の生活と結びつきながら維持されてきた草原のことをいいます。

これらの草原の多くは、放牧地や採草地、茅場（かやば）として利用され、こうした人間活動に依存した動植物が生息・生育しています。人間の働きかけがないと森に戻ります。



(1) 事業の目的

農耕馬は農業の機械化などにより農耕等の役割を終え、農林業に果たす役割は減少しつつありますが、最近では、林業における馬搬や有機農業における馬耕が見直されつつあり、存在価値が上昇しつつあります。また、チャグチャグ馬コを代表とする馬事文化を継承するためには農耕馬は不可欠です。

一方、畜産とともに成立していた安比のシバ草原は、放牧中止後急速に森林化が進み 1000 年を超える歴史に幕を閉じようとしています。安比シバ草原の再生、生物多様性の保全のためには農耕馬の再放牧が必要です。これらの新しいニーズに応えるためには農耕馬の持続的な頭数の維持・確保が必要で、本事業は農耕馬の維持・増加に資することを目的としています。

(2) 主な事業内容

1 草原再生事業《今回》

安比高原の半自然草原において借り上げた農耕馬を放牧し、草原等の再生を新たな仕事として実施することで生物多様性の保全を図ります。

2 ホースワーク推進事業

① ホーストレッキング等可能性調査事業《今回》

安比高原の半自然草原の放牧農耕馬を活用しホーストレッキングを行うとともに、都市公園等における馬車の運行、冬季の馬橇（ばそり）運行、チャグチャグ馬コ等馬事文化事業への農耕馬の活用方を検討し実証実験を行ないます。

② 馬耕等可能性調査事業

農耕馬の本来の仕事である馬耕について、普及を図るため農業者の田畑で馬耕の実証実験を行ないます。また、農耕馬による山林や山岳部における資材の運搬等について可能性を検討し実証実験を行ないます

3 公共施設管理可能性調査事業

大学、都市公園等の公共施設で農耕馬を使った草刈り、放牧による除草の可能性を検討し、実証実験を行ないます。

No.	時期	分類		内容
1	2019/5	ホースワーク推進事業 (馬耕等可能性調査事業)	実績	馬耕復活プロジェクト
2	2019/ 6~10	草原再生事業	予定	馬と芝とレンゲツツジ祭タイアップ、放牧(草原管理牧 ※仮称)
3	2019/ 6~10	ホースワーク推進事業 (ホーストレッキング等可能性調査事業)	予定	馬と芝とレンゲツツジ祭タイアップ、ホーストレッキング

～ホースワークについて～

農耕馬には、本来の仕事である馬耕・馬搬の他にも様々な仕事ができる可能性があります。具体的には、半自然草原の維持管理などの環境保全や、大人しく従順な性格を生かした安全なホーストレッキング、都市公園の芝生の管理、ホースセラピーといった内容で、現代の生活様式に適應して様々な場面で活躍することが期待されています。

遠野馬搬振興会の岩間敬氏はこれらの仕事を「現代版ホースワーク」と提唱しています。

この実証事業は、現代版ホースワークをこなせるような用途の広い農耕馬を育成し、それを操れる人材を育成することによって、農耕馬と人が持続可能に暮らせる場を確保し、地域に貢献しようとするものです。

千年つながる芝草原！安比高原 馬と芝とレンゲツツジ祭

千年続く「中のまきば」「奥のまきば」と郷土の文化、先人たちがつないできた遺産を次の世代へ

期間：6月2日(日)～6月9日(日)
場所：安比高原 中のまきば

レンゲツツジ（見頃：6月初旬）

祭事 熊まつり ～馬とふれあいと
へっちょこ団子お振る舞い～

6/2(日) 10:00～12:00

春になると地元農家は一齐に牛馬の山上げ(放牧)をしました。その日は「熊まつり」と称してお神酒を奉げて牛馬の安全を願ったそうです。祭事では安全祈願祭後に放牧します。今回は放牧前の馬に触れる記念写真会や恒例行事「へっちょこ団子」を振舞います。

草原 草原テラスで
テラス 音楽を聴きながらピクニック

6/2(日) 12:30～13:15

草原を一望できるテラスにて、名称発表会と平山順子さんのアルバム演奏会を行います。各自昼食ご持参にて音楽を聴きながらピクニックタイムをお楽しみください。

■参加無料

文化 引き馬トレッキングと
体験 馬車で巡るレンゲツツジツアー

6/2(日) 13:30～15:00
6/9(日) 10:00～12:00

放牧している馬達と働く「MATOWA～馬と輪～」スタッフによる、「自然とひとと動物が共生する」暮らし方働き方の体験をお楽しみください。



■料 金：無料
■受 付：安比高原「ブナの駅」特設テント
■定 員：各先着 15名

自然 ガイドと行く
体験 安比千年草原と馬文化のお話

期間中
毎日開催!

6/2(日)～9(日) 10:00～11:00

千年続く鮮やかなレンゲツツジの草原と新緑の森の見所と魅力をガイドがお伝えします。

■受 付：安比高原「ブナの駅」特設テント（10分前集合）

■協力金：小中学生 無料・高校生以上 1,000円

予約不要！団体様でのご利用のみ。安比高原ふるさと倶楽部までご予約ください。

◆主催 / 安比高原ふるさと倶楽部 **入金・受付** 期間中、安比高原ふるさと倶楽部ご入会（個人会員1,000円）・環境保全のご寄付を受付けます

お問合せ・お申込み

安比高原ふるさと倶楽部事務局 Tel.0195-73-6228(9:00～18:00)
(イーハトーヴォ安比高原自然学校) Fax.0195-73-6326 Mail.taiken@ihr.co.jp